

# 学びの 広場

地域で学び、活動する  
皆さんを応援します  
北秋田市教育委員会



- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ

## きたあきた『未来創生・勉強会』

～地方創生と社会教育～

平成27年度の公民館事業「おらほの地域応援し隊プログラム」の一環として、きたあきた『未来創生・勉強会』が、6月6日に中央公民館で開催され、参加した市民約120人が、対話中心のワークショップを通して地域の課題などについて考え合いました。

勉強会では、講師の文部科学省社会教育課企画官の水畑順作氏が「地方創生と社会教育」と題して講演したほか、「地域創生における社会教育の可能性」をテーマとしたワークショップのなかで、水畑氏は「国が地方のために何かをしてくれる時代は終わっ

た。人々が地域創生をいかに自分ごととして捉え行動するかで地域の元気が決まる」と述べました。



▲地域創生に向けて学習を深め合った勉強会

## 『浜辺の歌音楽館』に花を植えました

～北秋田市商工会女性部と米内沢小学校6年生～

北秋田市商工会女性部森吉支部の会員10人と、米内沢小学校6年生28人による初の協働ボランティア活動として、プランターの花植えや清掃活動が、5月28日に浜辺の歌音楽館前で行われました。

浜辺の歌音楽館は、郷土が生んだ音楽家・成田為三の直筆による楽譜などが展示され、音楽活動や生涯を学ぶことができます。現在、仙北市のわらび座で「為三さん！」が上演されており、今後來場者が増えることが予想されることから、来場される方を気持ちよく出迎えおもてなしをしたいと、同会員

と子どもたちが協力し合い、ペチュニアなどの花を植えました。この花々は、8月に見頃を迎えます。



▲協働ボランティア活動として行った花植え作業

## 青少年育成秋田県民会議表彰受賞

～青少年の健全育成に貢献～

平成27年度青少年育成秋田県民会議の青少年育成功労者表彰を受賞した三浦欽一さん（三木田）が、6月8日に市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。

この賞は、青少年の健全育成に貢献され、功績のあった方を表彰しているものです。

三浦さんは、長年にわたり少年保護育成委員や旧町民会議運営委員を務めるとともに、合併後は北秋田市民会議支部運営委員として、青少年健全活動を積極的に推進し、子どもたちへのあいさつ運動や防

犯見廻り、青少年による郷土芸能発表、植樹祭など青少年育成に尽力されました。



▲津谷市長に受賞を報告した三浦欽一さん（中央）

### 第10回北秋田市民俗芸能大会

開場 中央公民館 ☎62・6618

#### 出演団体を募集します

北秋田市に伝承されている民俗芸能を保存伝承するため、今年度も民俗芸能大会を開催します。郷土の宝である民俗芸能の魅力、広く市民に発信しませんか。

日時 8月23日(日) 開演13時30分

※午前中にリハーサル

会場 北秋田市文化会館

募集団体 市内民俗芸能団体(5団体)

締め切り 7月10日(金)

### 読み聞かせ研修会のお知らせ

開場 鷹巣図書館 ☎62・3311

日時 7月7日(火) 10時～12時

会場 交流センター第1研修室

講師 田丸美穂氏

### 平成27年度北秋田市成人式

開場 中央公民館 ☎62・1130

日時 8月15日(土) 14時30分

会場 北秋田市文化会館

対象 平成6年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた市内在住者及び市内中学校、国際情報学院中

学校を卒業された方

※中学校の卒業名簿などをもとに案内を送付していますが、該当する方

で通知が届いていない方は7月25日

までにご連絡ください。

## 学びの広場

○成人式の協力員を募集しています  
皆さんの手で思い出に残る成人式にしましょう。

### 第9回合川地区文化交流会 第27回合川芸文祭

開場 合川公民館 ☎78・2114

【開催日】 7月5日(日)

【会場】 合川公民館

「合川地区文化交流会」

開演 10時30分(開場10時)

出演 願人踊り(八郎潟)、森吉寿太郎(前田)

「合川芸文祭」

開演 12時30分(開場12時)

展示 合川華道部、合川俳句会

演示 市芸術文化協会合川支部加入団体(歌謡、舞踊、太鼓、民謡ほか)

「おやかたさ集まるべ講座」

開場 おさるべ元気くらぶ長岐賢一

☎090・6101・8906

「きのみやさままつり」と「七日市長岐宗家と坊沢長崎家について」

日時 7月24日(金) 10時

会場 長岐邸(七日市)

講師 千葉克一氏

今月のおすすめの本を紹介します

開場 鷹巣図書館 ☎62・3311

『父の日記』(高橋七郎、高橋充著)

『頂点への道』(錦織圭著)

『ラプラスの魔女』(東野圭吾著)

『火花』(又吉直樹著)

## ふるさとの文化財

88

### 北秋田市指定有形文化財(史跡)

#### ○「比立内発電所跡」(その2)

◇所在地 阿仁比立内字猿倉1・23

◇所有者 北秋田市

比立内発電所は、以前「ふるさとの文化財48」で紹介しています。

明治43年、古河鉱山発電所として鉱山の照明・坑内水を排水する動力確保を目的として建設された水力発電所です。当時としては45万円という大金を投じて建設され、ドイツシーメンス会社製の交流発電機が使用されました。昭和48年に廃止され、平成4年に旧阿仁町の文化財として指定されています。

発電所跡は、国道から山道を約500m程入った比立内川の川岸にあります。崖下を流れる比立内川は清流で、新緑や紅葉の季節には散策に訪れる人も多ようです。また、地区の住民にとって貴重な文化遺産であり、当時を懐かしむ人

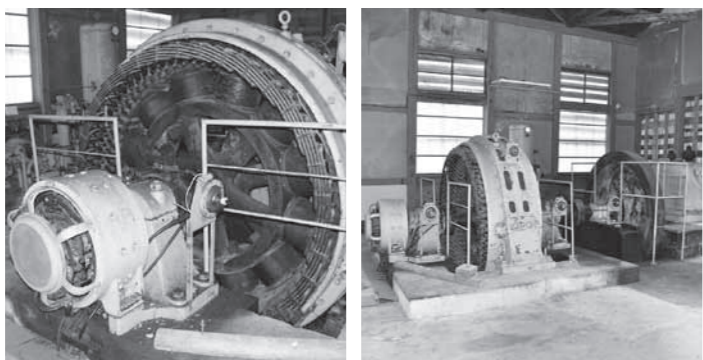
たちも多いと言います。

阿仁比立内地区は、特別豪雪地帯で発電所跡一帯も雪深く、発電所建屋の屋根庇、壁などは旧町時代から積雪による被害を受け、その都度修繕を行ってきたようです。

▽平成4年3月31日指定

▽資料/「近代秋田の電気事業」、「阿仁町史」、「東北電気物語」、「阿仁の文化財その1」

▽紹介者/北秋田市文化財保護審議会審議委員 照内捷二



▲建屋内部の交流発電機▲

しかし、次第に老朽化がすすみ、この冬の積雪で、発電所建屋が倒壊しました。市教育委員会では、今後、倒壊した建屋を解体撤去し、内部にあった発電機について保護を図る予定としています。